



6・7組さんの子どもたちは、毎日、職員室前を元気いっぱい「さようなら」と言って帰っていきます。まるで背中から羽が生えているようです。「今日も楽しかった。満足だった。」と伝わってきます。

本校の特別支援学級は、特別支援教育のスペシャリストが主任となり、通常学級からも真摯に学びたい教員が順番で「教育の原点」を学んでいます。教員も介助員も、子ども一人一人を「能動的学習者」として見ていますし、子どもは良くなろうとしているということを信じぬき、一人の人間として敬意を持って接しています。そして子どもたちと共に一緒になって先生も伸びていこうとされています。注意をしたり、指導はしたりはしますが、人格を否定するものではありません。より良い行動につながるためのものです。ですから、いつ授業におじゃましても、うれしくて幸せな気持ちがこみ上げてくるのです。

6・7組の子どもたちは安心して自分自身を出し、仲間と学び合うことを楽しんでいます。また交流学級に行ってもとても大切にされる存在になっています。

6・7組は本校の自慢の一つです。そして多くの方々に見ていただきたいと願っています。子どもになりきって教室に入った時、「ここで学べたら幸せだな。」と思っていただけだと思います。

いつでも見学、体験等は可能ですので、お申し出ください。

校長 藤田恵子



○子供の特性に応じた学びの場を考える

子供の学びの場として「通常の学級」「特別支援学級」「特別支援学校」及び「通級指導教室」があります。

学びの場は、固定したものではなく、発達の種類・適応の状況等を見ながら柔軟に転籍・転学することができます。転籍・転学は原則学年が変わる4月からになります。そのためには、前年度に就学相談を通して決定していきます。

○就学相談の流れ

通常学級から特別支援学級へ、特別支援学級から通常学級へなど、学びの場を変えたほうがよいのではないと思われる場合、学校（担任）へお申し出ください。必要に応じて見学や体験等を実施するとともに、保護者と担任、校内の就学相談担当者と面談、相談を行います。その結果、本人・保護者が転籍を希望した場合「就学相談申込書」に記入していただき、学校から教育委員会に提出します。ここまでの手続きを前年度の9月～10月下旬ごろまでに済ませる必要があります。

○支援籍の弾力的運用について

通常学級で落ち着いて学習することが難しい場合、通常学級に籍を置きながら、特別支援学級で学習する時間を設ける制度があります。しかし、そのための教員が配置されているわけではないため、定期的に時間を設けることが難しい場合もあります。将来的に特別支援学級を考えている児童の体験として、また一時的に特別支援学級に通うことで落ち着いて学習できるようになる効果が期待される場合について、特別支援学級の授業に支障がないことを条件に実施します。

○お子さんの心身の発達において気になることがありましたら、学校（担任等）にお申し出ください。お子さんをより伸ばせる環境や支援方法など一緒に考えていきます。学校以外の相談機関（教育センターや子ども相談センター等）もご紹介します。いつでもご相談ください。



所沢市立山口小学校

特別支援学級

6・7組



○特別支援学級について

山口小学校には、知的障害学級、自閉・情緒障害学級の特別支援学級が設置されています。

集団のペースに合わせることが苦手、音に敏感、一斉の指示を聞くことが難しい、友達と上手にコミュニケーションがとれないなど、様々な特性があるため、通常の学級では落ち着いて学習することが難しい児童が在籍しています。そのため、それぞれに個別の支援計画、指導計画を作成しています。一人一人に合わせたペースで、特性に配慮しながら学習に取り組んだり、コミュニケーションのとり方などを学び、社会性を伸ばせるよう取り組んだりしています。子供の成長や特性に合わせて交流での学習を行うなど、通常の学級とのかわりを多く持つようにしています。

6・7組 時間割(令和7年度)

	月	火	水	木	金
朝	朝マラソン	朝会	朝マラソン	朝マラソン	朝マラソン
1	朝運動	体育	朝運動	体育	朝運動
2	国語	国語	国語	国語	国語
3	算数	算数	算数	算数	算数
4	図工	音楽	図書	音楽	図工
5	学活	生活	生活	道徳	自立
6		生活	書写	クラブ委員会	生活

○授業について

- ・時間割は、左下のとおりになっています。授業時間数は、同学年と同じです。下校時間もその学年と同じです。
- ・学習形態は、教科ごとに、6・7組合同で行うもの、クラスごとに分かれて行うもの、学年ごとに分かれて行うもの、発達段階に応じてグループ分けをして行うものなど、教科の内容や児童の実態に応じて授業の展開を工夫しています。
- ・【朝運動】の時間は、多様な体の動きを取り入れたヨガとバランスボールを使った運動を児童の実態に合わせて構成し、取り組んでいます。朝の運動は、脳への血流が促進され、脳が活性化し、体と心の調子を整えるため、落ち着いて2時間目以降の学習に取り組むために大切な時間です。また、毎日継続して行うことで、体力の向上、できるようになる充実感、粘り強く取り組む力につながっています。
- ・【生活】の時間では、学年等を考慮しながら「生活単元学習」「総合的な学習」「理科」「社会」「家庭科」「保健体育」「生活科」の内容で計画し、学習しています。
- ・【自立】活動の時間では、対人関係やコミュニケーション、社会生活に関わる行動を中心に学習内容を決めています。



○交流及び共同作業について

- ・交流及び共同作業は、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するものです。
- ・年度当初に一人一人交流学級を決め、学校行事や学年行事、授業の際はいつも同じクラスに入り、参加しています。交流学級にも机・いすがあります。
- ・交流授業については、本人・保護者の希望と担任、交流学級の担任との相談で、教科や時期などを決めています。原則として、一人で授業を受け、理解できることを基本として考えます。
- ・学校行事(入学式、卒業式、運動会、音楽会等)は、全員、交流学級に入って参加します。そのための練習も交流学級で一緒に行います。入学式・卒業式の名簿は交流学級の中に名前が入ります。
- ・6・7組の発表の場として、「6年生を送る会」では、6・7組の枠を設定し、発表をしています。
- ・学年行事(遠足、林間学校、修学旅行、社会科見学等)も交流学級で参加します。
- ・集団での活動を有意義な経験にするために必要に応じて担任がついて支援するなどして参加します。
- ・授業参観、懇談会は、6・7組で行っています。

